

Business Report



第200期 報告書

2019年4月1日 ▶ 2020年3月31日



東武鉄道株式会社

証券コード：9001

株主の皆様へ、 東武グループの概況について ご説明いたします。

取締役社長 **根津嘉澄**



Q1 当期の業績について教えてください

A1 株主の皆様には、格別のご高配を賜り厚くお礼申し上げます。

当社グループでは、グループの新たな成長へ向けて、長期的な視点から「経営の基本的な方向性」等を示した「長期経営構想」と、これにもとづく4か年の具体的な取組みを示した「中期経営計画」にもとづき、当社グループの持続的な成長に向けた投資を積極的に推進するとともに、財務健全性を堅持しつつ、株主還元の一層の充実をはかってまいりました。

当期の連結業績は、前期に完全子会社化した(株)東武ストアが通期で寄与したこと等により増収となったものの、新型コロナウイルスの感染拡大に伴う訪日外国人観光客の減少や外出自粛等の影響もあり、営業収益は6,538億74百万円（前期比5.9%増）、営業利益は626億53百万円（前期比6.9%減）、経常利益は584億14百万円（前期比7.2%減）、親会社株主に帰属する当期純利益は355億30百万円（前期比26.8%増）となりました。

Q2 期末配当について教えてください

A2 当社は、長期にわたる経営基盤拡充のため、財務健全性を堅持し、業績と経営環境を総合的に勘案しながら、安定配当を継続することを基本方針としております。

当期の期末配当につきましては、将来の業績や事業展開を見据え、1株当たり20円に決定させていただきました。

Q3 今後の取組みについて教えてください

A3 当社グループは、これまで鉄道事業や各事業を通じ、街と街、人と街、鉄道ネットワークを活用した相互直通運転等、たくさんの「つなぐ」で沿線発展の一端を担ってきたほか、世界に向け「TOGETHER WE CAN ALL WIN! (みんなで新型コロナウイルスに打ち勝とう!)」のメッセージを東京スカイツリーから訴えかけるなどしてまいりました。

これからも「つなぐ」を「惹きつける力」と「稼ぐ力」さらには

「人々を動かす力」へと進化させ、地域や沿線の活性化と企業価値の向上を目指してまいります。

鉄道事業では、本年6月のダイヤ改正において、東京メトロとの相互直通運転では初めてとなる座席指定列車「THライナー」の導入や特急列車を増発するなど、都心への速達性や着席による快適性の向上、お子様連れでも通勤しやすい環境を提供するほか、ホームドア設置や連続立体交差事業を推進するなど、より安心して快適にご利用いただくための取組みをおこなってまいります。

また、これまでの住宅開発に加え、バリエーション豊かな賃貸マンション「ソライエアイル」シリーズの展開、多様化する働き方やワークスタイルに応える駅チカ保育施設やサテライトオフィスの充実等をすすめるほか、ターミナル駅や主要駅をまちに開かれた駅空間として魅力ある駅ビルや駅ナカ商業施設へと拡充し駅の拠点性を高めるとともに、長期的な視野に立ったまち再生事業への参画など、沿線開発の深耕により豊かな沿線生活環境を整備していくことで、多くの人を惹きつける「住みたい・住み続けたい沿線づくり」に向けた取組みを実施してまいります。

社会が先の見えない不安を抱えるいまこそ、当社グループは鉄道事業を中心にお客様の生活を支え、ステークホルダーと協働して沿線地域の持続的発展に全力で取り組むとともに、経営環境の変化に耐え得る体質の強化を図り、効率的かつ競争力のある企業集団を目指してまいります。

当社グループは、「東武グループ経営理念」、「東武グループ経営方針」のもと、さらなる企業価値向上へ向け、総力をあげて取り組んでまいりますので、株主の皆様には、今後とも一層のご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

東武グループ経営理念

東武グループでは、「奉仕」「進取」「和親」を経営の拠り所としています。

「奉仕」

東武グループは、東武グループの全ての事業が社会に支えられていることを深く自覚し、豊かな社会の実現に貢献します。

「進取」

東武グループは、現状に甘んじることなく、常に研鑽に励み、時代を切り開く開拓者精神をもって新たな挑戦を続けます。

「和親」

東武グループは、人の和や環境との調和をもとに事業の発展と従業員の幸福を図り、社会の進展に寄与します。

東武グループ経営方針

お客様の暮らしに密着した事業を通じて沿線地域の発展に貢献する企業グループとして、安全・安心を根幹に「運輸」「レジャー」「不動産」「流通」等の事業を多角的、複合的に展開します。

お客様の視点に立ち、質の高い先進性や獨創性あふれるサービスを提供し、活力に富んだ暮らしやすく訪れたい東武沿線の実現を目指します。

事業を通じて安定的に利益を創出しながら、環境にも配慮した経営を進め、お客様の生活を担う企業グループとして地域社会とともに持続的に発展することにより、企業の社会的責任を果たします。

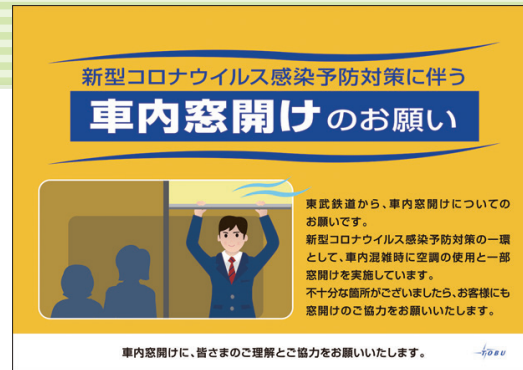
新型コロナウイルス感染症への対応について

政府の方針・行動計画また「鉄軌道事業における新型コロナウイルス感染症対策に関するガイドライン」に基づき対応を行い、お客様や従業員の安全を最優先に感染拡大防止に努め、社会インフラとしての企業の社会的責任を果たしております。また、新型コロナウイルスによる環境の変化に対応する取組みを推進しております。

新型コロナウイルス感染症に関する東武グループの対応

お客様への感染防止対策

- 駅へのアルコール消毒液・全有人駅へのウイルス除去剤の設置
- 駅構内設備に対する除菌洗剤を用いた定期清掃
- 特急車両の換気装置による車内換気
 - ・7分程度で車両内の空気入れ替え
- 全車両の定期的な車内除菌
- 車内放送・HP・ポスターによる車内換気、オフピーク通勤の呼びかけ



従業員の感染防止対策

- 時差通勤の実施
- 鉄道現業職場における交代時間の見直し
- 雇用維持を前提とした勤務体系の見直し
 - ・在宅勤務、サテライトオフィスの活用
- 本社の出勤率抑制
- 不急な出張、外部会議の中止

環境変化への対応

- テレワーク需要の取込み
 - ・保有する不動産を活用した貸会議室提供
- WEBサービスの拡充
 - ・オンラインショッピングの取扱い品目拡大
 - ・法人向けテレワーク環境構築支援
- ホテルを活用した取組み
 - ・惣菜やレストランメニューの出前サービス

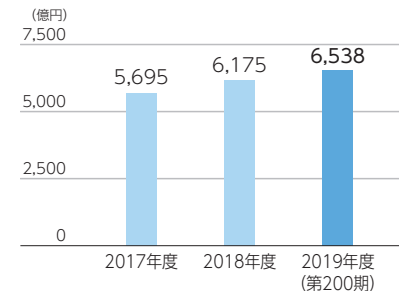


連結決算の概要

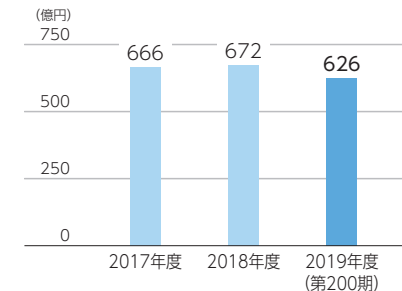
2019年度決算のポイント

- ✓ 営業収益は、新型コロナウイルスの感染拡大に伴う訪日外国人観光客の減少や外出自粛等の影響があったものの、前期に完全子会社化した(株)東武ストアが通期で寄与したこと等により増収となり、前期比363億円増の6,538億円となりました。
- ✓ 営業利益は、新型コロナウイルス感染拡大防止に伴う外出自粛や一部レジャー施設の臨時休業等の影響により前期比46億円減の626億円となり、経常利益は前期比45億円減の584億円となりました。親会社株主に帰属する当期純利益につきましては、前期に子会社の事業再編に伴い保有する土地等の固定資産に係る減損損失を計上したこともあり、前期比75億円増の355億円となりました。
- ✓ 総資産は、有形固定資産や現金及び預金等の増加等により前期末比129億円増の1兆6,560億円、負債は、高架化工事の進捗による自治体からの前受金の増加等により前期末比82億円増の1兆1,821億円、純資産は、親会社株主に帰属する当期純利益の計上等により前期末比46億円増の4,739億円となりました。

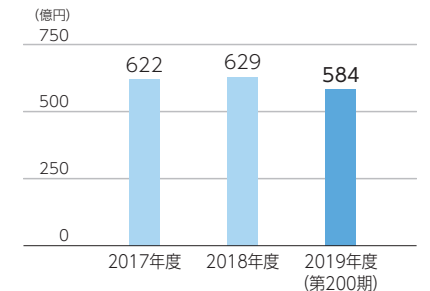
営業収益



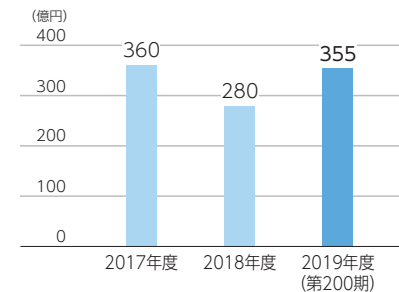
営業利益



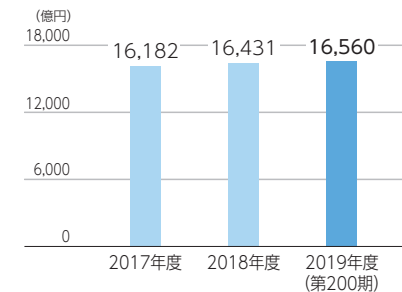
経常利益



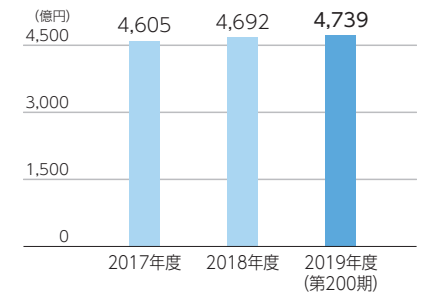
親会社株主に帰属する当期純利益



総資産



純資産



※本ページ記載の金額につきましては、すべて記載単位未満を切り捨てて表示しております。

株主優待乗車証

株式数	乗車証の種類	発行枚数	
		9月末 (基準日)	3月末 (基準日)
100株以上 200株未満	回数券 ※1	—	2枚
200株以上 600株未満	回数券	2枚	2枚
600株以上 1,000株未満	回数券	6枚	6枚
1,000株以上 2,000株未満	回数券	10枚	10枚
2,000株以上 3,000株未満	回数券	20枚	20枚
3,000株以上 4,000株未満	回数券	30枚	30枚
4,000株以上 5,000株未満	回数券	40枚	40枚
5,000株以上 5,800株未満	回数券	50枚	50枚
5,800株以上 11,600株未満	定期券 ※2	1枚	1枚
11,600株以上	定期券 回数券	1枚 + 50枚	1枚 + 50枚



1,000株以上を
3年間以上継続して
保有いただいている
株主様へのご優待 ※3
(半年につき)

回数券 4枚

+

回数券 10枚

※1 1枚1乗車有効の電車全線優待乗車証(回数券式)

※2 電車全線優待乗車証(定期券式)

※3 当社の株主名簿において、過去3年間の全ての基準日(当該基準日を含む直近7回の基準日(3月31日、9月30日))に1,000株(株式併合前の2017年9月以前の基準日においては5,000株)以上の株式を継続して保有し、株主番号が継続して同一である株主様に対し、過去3年間の基準日に保有していた最小株式数に応じて追加発行いたします。

株主ご優待券

株式数	発行数	
	9月末 (基準日)	3月末 (基準日)
100株以上 200株未満	—	1冊
200株以上	1冊	1冊



株主様向け施設見学会のご報告

株主様に当社及び当社グループへのご理解を一層深めていただくため、2020年2月7日(金)、「株主様向け施設見学会」を開催し、株主様及び同伴者様にご参加いただきました。

場所 コートヤード・マリOTT銀座東武ホテル、ACホテル・バイ・マリOTT東京銀座、東武有明フィールド、すみだリバーウォーク

内容 ホテル事業について説明ののち銀座東武ホテル及び建設中のACホテルを見学
バスに乗車のうえ、車内より建設中の東武有明フィールド及びすみだリバーウォーク、また有明・お台場の競技施設等を見学



ホテル事業の説明



11階スイートルームの見学



ACホテル建設現場の見学

両ホテルについて、それぞれの担当者から丁寧に案内してもらえて良かったです。特にスイートルームを見学できたのは貴重な経験でした。



バス車内からの見学

建設中のホテルを見学することができ、特別感があってとても良かったです。

会社概要 (2020年3月31日現在)

商号 東武鉄道株式会社
 設立年月日 1897年11月1日
 本店所在地 東京都墨田区
 押上一丁目1番2号
 資本金 1,021億3,597万1,747円
 従業員数 3,519名
 発行可能株式総数 4億株
 発行済株式の総数 2億981万5,421株
 株主数 6万784名
 事業内容 ① 鉄道事業
 ② 不動産事業
 ③ その他の事業

役員 (2020年3月31日現在)

【取締役】
 代表取締役社長 根津 嘉澄
 代表取締役 角田 建一
 取締役 三輪 裕章 関口 幸一
 小代 晶弘 小野寺 敏明
 小檜山 隆 山本 勉
 柴田 光義 安藤 隆春

【監査役】
 常勤監査役 中嶋 直孝 豊田 郁夫
 監査役 正田 修 茂木 友三郎
 小林 喬

【執行役員】

社長執行役員 根津 嘉澄
 副社長執行役員 角田 建一
 専務執行役員 三輪 裕章 関口 幸一
 小代 晶弘
 常務執行役員 横田 芳美 小野寺 敏明
 小檜山 隆 山本 勉
 吉野 利哉
 執行役員 吉田 辰雄 丹羽 茂美
 鈴木 熊野 宮田 浩
 野口 育男 杉山 知也
 高野 寿久 木村 吉延
 田邊 哲也 石附 栄一

株主メモ 事業年度 毎年4月1日から翌年3月31日まで
 定時株主総会 毎年6月
 配当金受領株主確定日 期末配当金 毎年3月31日 / 中間配当金 毎年9月30日

株主名簿管理人 三井住友信託銀行株式会社
 公告の方法 電子公告
<https://www.tobu.co.jp/koukoku/>

定時株主総会に関するご報告

2020年6月23日に開催いたしました当社第200期定時株主総会の決議結果につきましては、当社ホームページに掲載しております。

東武 株主総会

検索

<https://www.tobu.co.jp/ir/meeting/>

株主様カレンダー(予定)

2020年

7月

8月

9月

10月

11月

12月

下旬
第1四半期
決算発表

30日
株主確定日
(基準日)

下旬
第2四半期
決算発表

月上旬
配当金関係書類・
株主優待*・
中間報告書ご送付

* 200株以上ご所有の株主様
 に対してお送りいたします。

株式に関する「マイナンバー制度」のご案内

株式の税務関係のお手続き(税務署への配当金に関する支払調書の提出等)において、株主様のマイナンバーが必要になりますので、口座のある証券会社へマイナンバーをお届出ください。なお、証券会社とのお取引がない株主様は、三井住友信託銀行証券代行部(TEL.0120-782-031)にお問い合わせください。

東武鉄道株式会社

〒131-8522 東京都墨田区押上二丁目18番12号
 TEL.03-5962-2067

* 「東京スカイツリー」は、東武鉄道㈱及び東武タワースカイツリー㈱の登録商標です。



この印刷物は、視認性が高く読みやすいユニバーサルデザインフォントを採用しています。
 また、FSC®森林認証紙を用いて「森林資源の保全」に、植物油インキを用いて「大気保全」に配慮しています。くわえて印刷に使用した電力(913kwh)は、バイオマス発電によるグリーン電力により賄うとともに、環境に配慮した資材と工場で印刷しています。なお、印刷用の紙に再生できますので、不要になった際は古紙回収・リサイクルにお出ください。